

# 美術館運動に 建設について

北海道美術館建設期成会事務局長

石田 栖 湖

北海道美術館建設期成会は昨年九月九日に発足したが、その設立総会の席上、小谷義雄氏（道商工会議所議員会長）が、こんな話を披露された。それは、三十年前か前にも同氏は美術館の建設を計画し、時の道庁長官の支援をうけて資金づくりに奔走したが、結局は実現を見るにいたらなかった、ということである。

当時は、本道の美術界も揺籃期であり、一般の関心もそこまで高まっていなかったであろう。

しかし、その願いはそれきり消えてしまったわけではなく、地下水のように北海道の歴史の底を流れて、この日に続いているのである。数年前、北海道美術家協議会が結成されて美術館建設が運動の中核としてとりあげられたのも、その後、道展が建設基金をつくるための小品即売をやったのも、また一昨年来文化団体協議会がこれ

を一つの課題として討議してきたのも、みんなこの地下水が地表について噴き出したものにほかならない。そして、これらの動きが積み重なり、しだいに一つの流れとなって、期成会の結成にまで成長してきたのである。

いうまでもないことだが、美術館の建設には多額の経費がいるし、将来の運営のことも考え合わせると、とうてい民間の力だけでできるものではない。全国の例を見ても、特別のもの以外はほとんどが府県立または市立となっている。期成会でもこれらの例にならない、道立美術館の建設を目標としている。

したがってその運動も、さしあたり道に対する陳情、地元札幌市に対する協力要望、道議会、市議会に対する請願を軸に進めてきた。さいわい、今までのところでは、道議会でも市議会でも請願は満場一致で採択されたし、道側でもこれについて検討の段階に入っている模様で、見通しは明るさを加えている。とくに道議会の文教林務委員会では積極的な態度を示し、近く全国の主要美術館の調査をはじめるといふことであり、また道側では教育庁で委員を委嘱して審議会を開くよう準備がすすめられているとのことである。一方、国の総合開発計画案の中にも、総額五億円で三千坪の美術館、博物館を建てるという構想が盛り込まれていることも明らかとなっている。

これらの情況に応じて今後期成会は、関係方面と一そう密接に接触してこれを促進しなければならぬし、もっと体制を強化して運動を進めることにならうが、それ

展示美術



株式会社 六書堂

北1西2 TEL ②2041 ②7870 ⑤6641

にしても、建設を少しでも早めるためには、強い世論の背景がなければならない。

ありがたいことに、新聞や放送が、期成会発足以来いろいろととりあげてくれたおかげで、全道に関心はかなり高まっている。また、昨春秋に開かれた道展と全道展の合同展や、この春道新によって開かれたピカソ展は、期成会への協賛ということで、基金の面と併せて世論の醸成に大きな力となっている。最近では学芸大学学生による十円玉署名運動が大きな反響をよび、すでに万を数える署名と十数万円の募金が集まっているという。このほか文化団体協議会、札幌市文化会議の全面的協力もあって、期成会への支援はしだいに広まってきている。しかしまだまだこれからである。

x x x

この全道展も、だんだんさかんになるのに反比例して、きゅうくつさは加わる一方である。これは、ほかの展覧会も同様で、これだけの規模の展覧会が、デパートに迷惑をかけてやっと思づいているなどということは、比類まれであろう。

「文化都市」札幌の一角に、二千坪の美の殿堂が建ち、百年にわたり郷土を築いた先人の美術遺産を収め、展覧会を心ゆくまで鑑賞できる——、これはもう決して夢でない。どこか、手の届くところまでできているのである。美術を愛する人だち、北海道を愛する人だちが、こぞってこの運動に参加して、それを促進されるようねがってやまない。



カット 栃内忠男

# 天政

本店 狸小路4丁目③ -1853

支店 大通西3味のセンター  
3階天ぶらコーナー⑤ -0146